



一本松まちづくりひろば

19

発行：一本松まちづくり協議会 発行責任者 杉山 邦彦

○■ 桜上水・玉川（世田谷区）の防災まちづくり見学会 ■○

平成28年2月10日（水）、東京都世田谷区 桜上水五丁目自治会・玉川町会へ先進事例見学会を実施しました。

災害が発生した時、安全な場所への誘導・現在いる場所を伝えるのに「町内の道や坂に愛称がついていれば分かりやすい」の発想を実際に実行した事例です。

※※※ 桜上水5丁目自治会 ※※※

事例説明風景

※※※※※ 玉川町会 ※※※※※



事例紹介



《花火坂》

坂の上より南側に二子玉川、川崎の花火がきれいに観えます



《つつじ道》

いろいろな花や樹がつつじに咲きます。5月の「オオムラサキつつじ」きれいです。



《ゆうやけ道》

天気の良い日この道から西方に、きれいな夕日が広がっています。



《二子玉川ふれあい通り》

地域のお祭りなどで住民が集う公園が近くにあります。



《二子小東門通り》

二子玉川小学校の生徒さんのアイデア。学校東門のある通りです。



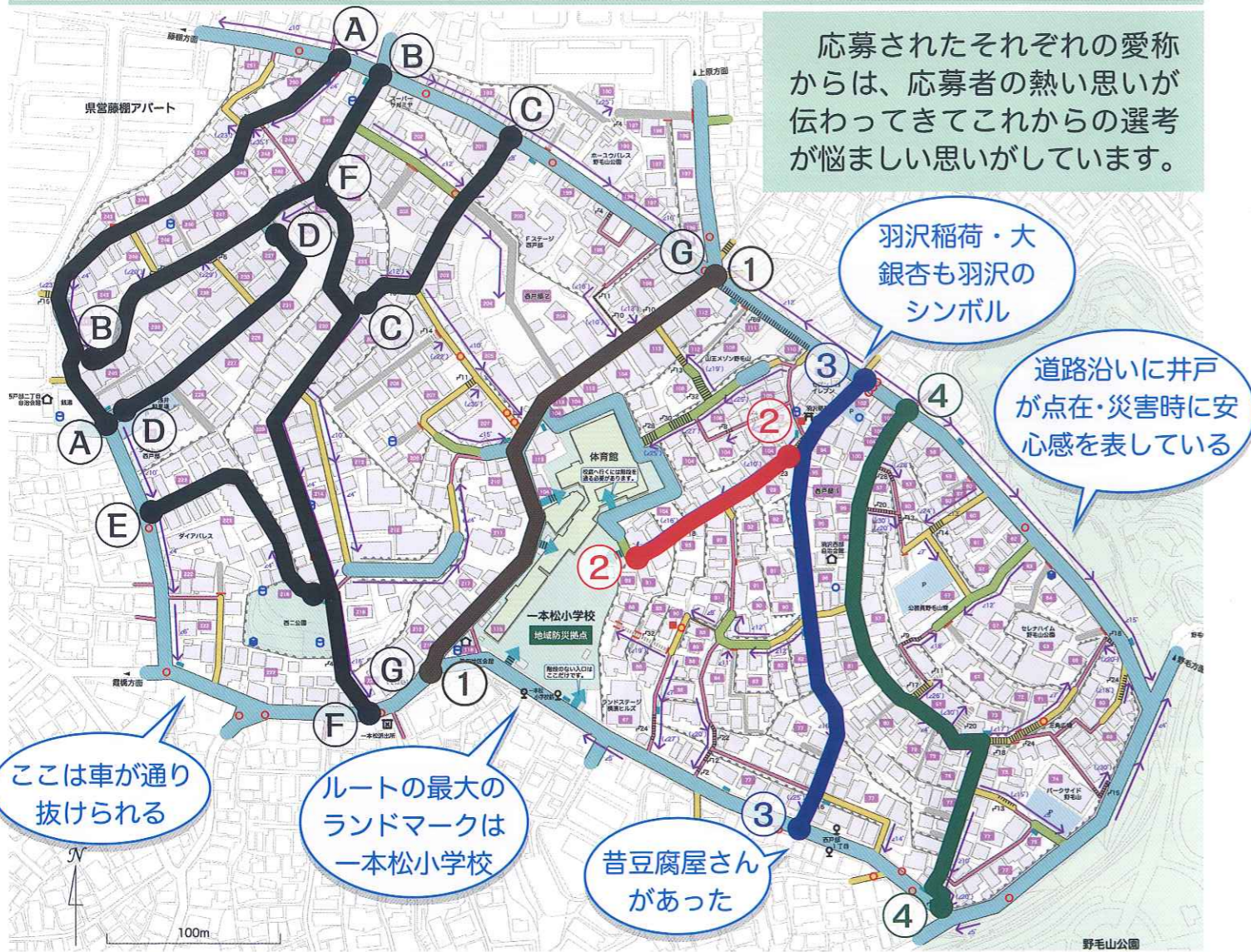
《二子玉川商店街通り》

現在、多くの人々が呼称として使っていることから。



町内の主要避難路に付ける 愛称を募集しています。

ふた昔くらい前は、「〇〇さんの角を右に曲がって△△さんの前を直進です。」で十分用が足りましたが、新しい方が増え、家の建て替えが進んだりして、今では道順を伝える事が大変難しくなっています。まして大地震発災時、火事発生時に町内から脱出する避難路を的確に皆さんに伝える事は至難の業と思います。このことから両自治会内の主要避難路の愛称募集を平成27年度進めてきました。第一次応募状況のご報告をさせていただきます。



西戸部二丁目第一自治会

①～⑥までの七本の道路の愛称を公園清掃やまち歩きの参加者から募集して来ました。
⑥は隣接の羽沢西部自治会との分け目の道路ですので、両自治会の応募を合わせて考えて行きます。

羽沢西部自治会

戸配アンケートで22枚の応募がありました。平成28年度一本松まちづくり協議会総会で参加者の皆様と決定させていただきます。
①茶：一本松小学校西側 西戸部二丁目第一自治会との間の道路
②赤：羽沢稲荷の先から一本松小学校へ登る長い階段
③青：セブンイレブンから町内を通りバス通りへ抜けるルート
④緑：岩瀬米店の前から町内を通りバス通りへ抜けるルート

総会のお知らせ * 5月22日(日) * 13時30分～ * 一本松小学校 図書室
* 1部：総会 * 2部：講演会(講師未定) 沢山のご参加お待ちしております！

防災オリエンテーリング

一本松まちづくり協議会が主催する《防災力・ステップアップキャンプ》で学んだ事を、町内の催しに取り入れて実践してみました。

西戸部二丁目第一自治会地区「夜回り」 平成27年12月26日 18:30～20:00 参加者合計32名
《アンケート》小学生8名、中学生2名、幼稚園児2名 おとな2名 合計14名



ケリーケトルの説明



ケリーケトルで沸かした湯でコーヒーやスープを飲む



オリエンテーリング 防災マップなどの説明



夜回り 消火箱・消火栓などの説明

《アンケート結果》

- Q: 参加してみて
- * 非常に良かった: 7名
- * 良かった: 7名
- Q: 内容について
- * 勉強になった: 7名
- * おもしろかった: 7名
- Q: 今後このような内容について
- * 参加したい: 12名
- Q: 今後してみたいこと
- * 地震訓練
- * 煙体験
- * 実際の災害を想定した訓練
- Q: 感想
- * ケリーケトルが短時間で
お湯が沸きびっくりした。

羽沢西部自治会「防災スタンプラリー」

平成28年2月7日 10:00～12:00

町内の整備済箇所をポイントとして、スタンプラリーを実施、羽沢稲荷境内でアウトドア体験をしました。



スタンプラリーの説明

整備済のポイントを地図上で確認。周る順番を自分で考えて、いざ出発。



簡易テント設営

簡易テントの中へ入ってみます。風も入らず、ポカポカで快適です。



一分間パスタ

1分間ゆでるとパスタが食べられます。特製ミートソースでおいしさ満点。



ケリーケトル湯沸し

ケリーケトルでお湯を沸かして、温かい飲み物で身体もあったまりました。火起こし体験もしました。

フィリピン・イロイロ市 市長さん & 視察団を西戸部町にお迎えしました！

平成27年10月29日（木）にフィリピンのイロイロ市からジェド・マビログ市長ほか14名が一本松まちづくり協議会の視察に来られました。

この視察は、JICA 草の根技術協力事業として横浜市がイロイロ市に対して行う地域防災力を高めるプロジェクトの一環として行われたものです。

地域で進める具体的な防災まちづくりの事例として、一本松まちづくり協議会の取組みが選ばれ、西戸部二丁目第一自治会の「わくわくハウス」や公園、羽沢西部自治会の狭あい道路拡幅や井戸のポンプ、私道階段の手すり設置などの現場を見ていただきました。



バスで到着後、西戸部二丁目わくわくハウスの説明を興味深く聞き入る皆様



西戸部二丁目公園でかまどベンチ、雨水タンクなどのまち普請事業を見



羽沢西部の井戸では市長さん自らポンプを操作され、性能の良さに驚かれていました。



改修前の写真を示しながら、狭隘道路拡幅擁壁工事の説明を聞いてもらいました。



文化や制度の違いか、まちの中を歩く中で様々なものに興味を示していました。例えば、ゴミ置き場。曜日ごとにきちんと分別されていることや、折り畳みのゴミステーションなどには多くの質問が出ていました。また、自治会や協議会の掲示板も珍しいらしく、たくさんの写真を撮っていました。なかでも盛り上がったのは、猫除け(?)のペットボトルでした。

イロイロ市の課題は低地での洪水とお聞きし、お役に立てる事が有るか心配でした。町内を見学する中で沢山の事に興味を持って下さり、今回の視察を大変喜んで下さったことお役に立てて嬉しく思っています。



協議会の10年記念誌を贈呈しました。



通訳付きの会議は初めてで緊張しました。

現場視察の後には、パシフィコ横浜の会議室で意見交換や質疑応答がありました。イロイロ市の市長さんよりG30の効果「ゴミの減量」について質問がありました。

編集後記

年度後半の活動をご報告出来て良かったです。減災・防災はまずは「自助」から。(M・Y記)